

めざせ集落営農法人の水稻単収向上！ 集落営農法人と意見交換を実施

甲賀地域の中山間地のいくつかの集落営農法人においては、水稻の収量低下が問題となっています。10月3日、4日に、集落営農法人において実施した水稻収量調査の結果をもとに、収量低下の原因と来年度の単収向上に向けた対策について、法人の役員らと意見交換を行いました。

当日は、当普及センターの集落営農法人水稻単収向上対策チームが、中山間の法人6経営体を巡回訪問しました。今年度、若手職員が中心となって実施した水稻収量調査の結果をもとに、今年度の水稻収量の状況や収量減につながったと考えられる原因を説明しました。また、法人の担当者から水稻の管理や収穫時の状況、収量を聞き取りました。

その後、来年度の栽培に向けて意見交換を行いました。収量減の原因と思われた還元害対策として、秋鋤きを早めることや畝立て耕起を提案しました。また、一部のは場で秋落ちが見られたので、たい肥など有機肥料の活用や肥料体系の変更などの改善策を提示しました。集落営農法人からは、組合員確保の苦労や工夫について、様々な意見が出ました。

当課では、水稻単収の向上に向け、継続して情報を収集するとともに、これらの情報を基に、技術対策について提案をしていきます。



若手職員が中心になり、調査結果を説明



還元害対策や水管理の工夫について意見交換